

郷土文化財紹介

重要文化財シリーズ 〈薬師如来座像〉

上野本郷に「お薬師様」と親しまれる薬師堂があり、今は大洗磯前神社と併設されています。ここは今風に言うとパワースポットと言われる場所で、岐阜県指定天然記念物「大杉」、中津川市指定「大銀杏」があり、岐阜県指定重要文化財「薬師如来座像」(昭和40年指定)を大切に保存し祀ってきた所です。



前身の薬王山東光寺は、今の位置より少し左下方にあったとされますが位置を特定することのできる遺構はありません。ですが周辺には五輪塔が数基とその残欠を確認することができますし、周辺から採集された陶磁器類は中世のもので、薬王山東光寺は鎌倉ないし南北朝時代に建立された寺院と言えるのではないのでしょうか。この寺院の本尊であったと伝承されるのが薬師如来座像です。

奈良国立博物館名誉会員松浦正昭氏が来坂されたおりに、この薬師如来座像を高く評価されました。「高さが34cmの寄木造りで割首で作られている。特徴は髪形にあり羅髪ではなく縄目状総髪で大変めずらしい髪形である。誰か高貴な方の病氣平癒を願って建立したのではないだろうか。昭和40年以降の修理の際に南北朝作の年号の記録があったとされるので、南北朝の作で間違いないでしょう。」とのことでした。



←薬師如来座像正面



↑薬師如来右面



↑薬師如来左面



↑薬師如来上面



↓薬師如来下面